

那 覇 市 教 育 委 員 会 会 議 録

平成26年度第1回（定例会）

署名人 喜久里美也子

委員長 添石幸伸

開催日時 平成26年4月8日（火）

開会 午前9時30分

閉会 午後10時45分

開催場所 那覇市役所11階 1101A・B会議室

出席委員 添石幸伸委員長、喜久里美也子委員、饒波正博委員、神村洋子委員、渡慶次克彦委員

議 事 日 程

（3は非公開）

- 1 議案第1号 教育長の任命について
- 2 報 告 1 那覇市議会2月定例会における議決議案及び代表・一般質問答弁状況について
(総務課)
- 3 報 告 2 平成26年度那覇市一般会計予算の確定について（総務課）

出席職員

【生涯学習部】伊良皆宜俣部長、屋比久猛義副部長

（総務課）山内健課長、佐久川敏明副参事、伊禮道子主査、島袋久美子主査

（市民スポーツ課）當間千明主査

【学校教育部】田端一正部長、森田浩次副部長

会議録作成（総務課）赤嶺明日香主査

添石委員長　　ただいまから、平成２６年度第１回教育委員会会議定例会を開催いたします。本日の会議録署名は喜久里委員にお願いいたします。それでは、会議を開催する前に、本日付で新しく委員に任命されました、神村委員と渡慶次委員に一言ずつご挨拶をいただきたいと思います。

神村委員　　はいたい、という言葉に慣れないといけませんね。先月でしたか、実は短歌をやっております、しまくとうばは聞けるけれども、まだ話せないこのもどかしさは、私たちを教育してくれた熱き教育がそうなんだ、というのを新報の方に投稿しました。それで、いつもアドバイスしてくださる先生よりも新聞の前の方に出了んです。ですから、同じことをもしかしたら選者も感じているかもしれないと思ったのですけれども。「はいたい」に慣れて、そしてこの会議に慣れていけたらいいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

渡慶次委員　　はいさい。役所に３４年、この３月３１日で定年を迎えて、その後何をしようかと思っていたところ、直前になって教育委員という話がありました。教育委員会、一度も私、役所の中で行ったことのない場所ということでありましたが、かつての嘉手納教育長は技術畑で教育長、しかも２期勤められたと聞いて、そういう方もいらっしゃったんだなと。そういうことであれば、私も現役の小中学生がいて、学校現場とのパイプも家にいますので、そういったことも含めて、教育界に身を捧げるのもいいのかなということで心機一転、これからまた教育委員として、皆と一緒に協力しながら前に進めて行きたいなと思っております。ゆたさるぐとうにげーさびら。

添石委員長　　それでは早速、進行して参ります。まず、はじめに教育長の任期満了に伴いまして、新たに教育長を決める必要がございます。教育長の任命は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１６条第２項」の規定に基づき、「教育長は、委員長を除く教育委員会委員である者のうちから、教育委員会が任命する」とあります。今までの慣例により、指名推選で実施したいと思いますがよろしいでしょうか。

全　　員　　異議なし

添石委員長　　異議なしとの答えで一致いたしました。それでは、指名推選により実施することに決定いたしました。どなたか推選をお願いできますでしょうか。

喜久里委員　　教育長には先日まで企画財務部長として活躍されていましたが、行政経験が豊富な、渡慶次委員を推選します。

添石委員長　　ただいま喜久里委員から渡慶次委員を教育長にという発言がございました。教育長を選任するにあたり、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１３条第５項」の規定により、推選をされた委員は、議事に参与する事はできませんので、渡慶次委員には一時退席をお願いしたいと思います。

(渡慶次委員退席)

添石委員長　それでは先ほど、喜久里委員から渡慶次委員との推選がございましたが、他に意見等はございませんでしょうか。

全　　員　　渡慶次委員で賛成です。

添石委員長　それでは、委員の皆様賛成のようですから、渡慶次克彦委員を教育長に任命する議案を作成の上、配布したいと思います。それでは事務局の方で、資料の配布をお願いいたします。

(議案配布)

添石委員長　お手元に配布されました資料、確認して頂きたいと思います。それでは日程１の議案第１号「教育長の任命について」を議題といたします。私の方から提案説明を行います。議案第１号「教育長の任命について」、教育長を別紙のとおり任命する。提案理由、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１６条の規定に基づき教育長を任命するので、この案を提出いたします。ページをめくっていただきまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１６条第２項の規定に基づき、那覇市教育委員会の教育長に委員の渡慶次克彦を任命いたします。それでは渡慶次克彦委員を、本日付で那覇市教育委員会の教育長に任命したいと思いますがご異議ございませんでしょうか。

全　　員　　異議なし

添石委員長　異議なしですので全員一致で可決したいと思います。議案第１号「教育長の任命」については、原案のとおり決定いたしました。それでは、渡慶次委員を教育長に任命いたします。渡慶次委員に入室いただき、教育長の辞令を交付させていただきますしたいと思います。

(渡慶次委員入室)

添石委員長　辞令を交付させていただきますと思います。教育委員渡慶次克彦殿、那覇市教育委員会教育長に任命する。平成２６年４月８日、那覇市教育委員会。よろしくお願いいたします。それでは、あらためまして渡慶次新教育長に就任のご挨拶をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

渡慶次教育長　これまで教育委員会にあまり携わったことが無くて、委員就任の話があってから、新聞記事の教育委員会とか教育の話が目につくようになりました。以前からあったと思うのですが特に最近、意識をもって見ているせいか、私もこのような仕事に携わるのかなと思い、気がひきしまる思いがありました。過去の教育長を見てみますと、例えば仲田美加子さん、あの方のときに成人式が荒れて、教育委員会として成人式をどういう形でやっていこうか、大きな山場を迎えて、現在は各地域で非常に素晴らしい成人式をやっていると。それから桃原教育長のときには、学校再配置計画をされて、城間教育長のときには、ご存知のように学校統合とい

うことで、逆風の中を乗り越えてこられた。各歴代の教育長を見てみますと、そういった山・山を何とか乗り越えて頑張ってきたと。今回、私もそういう立場にたって、教育委員会の制度も変わりますし、平成26年度もいろいろなことがあると思います。ただ、これについても私たち一緒になって、一步一步前に進んでいくということで、是非皆様方のご協力をお願いしたいと思います。頑張りたいと思いますし、頑張りましょう。よろしくお願いいたします。

添石委員長 ありがとうございます。是非よろしくお願いいたします。それでは進行して参りたいと思います。つづきまして日程2の報告1「那覇市議会2月定例会における議決議案及び代表・一般質問答弁状況について」の説明をお願いいたします。

伊良皆部長 報告理由説明

山内課長 資料説明

添石委員長 かなりボリュームがございますが、本件につきまして、ご意見、ご質問がありましたら、発言をお願いいたします。

饒波委員 就学支援については、2番と21番と44番があると思いますが、2ページの生活保護費の人に対しての就学支援の制度がどうなるのか、議員が心配されて質問されての答えですね、平成26年度就学援助については、那覇市は変更しない。平成27年度からは、その時の状況に応じて考えます。と回答していると思います。これに対して20ページ・21ページの同じような質問に対しては、平成26年度は変えませんよ、というメッセージが抜けていると思う。就学支援に対する那覇市の方針があると思うので、明確に平成26年度は変えませんよ、と言うメッセージは同じような質問には必ず答えるようにしていた方がいいと思いました。たとえば、学力テストの公表について、那覇市は勉強会を行なったときに、公表するつもりはない、と明確に言われたので、そのように、強いメッセージで答えるようにしたほうが伝わると思います。学力テストの公表について質問が出て、宮古島市は、学校別で公表すると決めたという話ですが、那覇市の議会として公表したほうが良いという意見がありますか。

添石委員長 まず一点目が就学援助制度に関しての意見であったと思うのですが、それに関して今回、何かありましたか。

伊良皆部長 学校教育部長の所管ではありますが、田端部長は今回初めてですので、私の知っている範囲でお答えします。就学援助に関しましては、中身の検討を平成25年度から手掛けている状況でございます。しかしながら、まだ結論が見いだせない部分があり、引き続き平成26年度も検討している状況でございます。その中で先ほどの答弁の中では26年度はそのままにしているという状況となっております。

饒波委員 凄くわかりやすい結論だと思うので、強くメッセージしたほうが良いと思いまし

た。

添石委員長

2点目の、質問内容はこの内容とは少しずれますか。

饒波委員

学力テストの公表について、こういうふうにしたほうがいい、というような質問はないということですよね。

伊良皆部長

議員より公開してもらいたい、と強いメッセージがあるものにつきましては、再質問、再々質問等々で粘り強くやっていく部分はございますけれど、今回は、1回の答弁で終了している部分もございますので、ある意味、教育委員会の考え方も汲み取っていただきながら、どのようなことが良いのかも考えておられるのではないかと思います。特に強く要望する場合につきましては、議員の方からでてまいりますので、今回の議員の質問の中には、その辺りまで入ってなかったのかなと思います。

饒波委員

わかりました。

添石委員長

ほか、質問はありますか。

渡慶次教育長

小中一貫校について。教育振興基本計画で、私たちは、小中一貫校制度はやっていくと言っています。財政負担も伴うので、答弁最後の文言、小中一貫教育の効果性を広く示せるよう努力していきたいと、小中一貫校が非常に効果あるものだと知らしめるためにも、効果性が今後とも示せる形でやっていかないと、説明に困るということです。効果性を蓄えていながらやっていってほしいと思います。要望です。

森田副部長

その件につきまして、モデル実施期間から完了するまでいくらかかるのか、といった質問がありました。それに対しましては、私たちも充分その小中一貫教育の効果等について、モデル事業の中で検証しているということで、学力向上、生徒指導等での効果性を示しながら進めていきたいと思っています。

渡慶次教育長

モデル校で効果があったということを精査して広めていこうと。ただ地域性があって、あまり効果が出てこないところもでてきやしないかというのもあるので、小中一貫校ということを制度としてやっていくためには、その地域がこうだから馴染まないということではなく、やっていくためには、馴染まないところでも、効果的にやって広めていくという努力も必要ではないか、と思います。

森田副部長

効果というものを、数値で示すことは、非常に厳しいものがあると思います。子供たちも毎年変わるし、先生方にも県内での移動があります。成果については一筋縄には出せないところもありますので、今回のモデル事業を通して先生方が小学校と中学校が連携することで非常に指導の仕方に幅が出てきたと、子供たちに良い影響がでている効果がありますので、全市導入したときに共有出来るように進めていきたいと思っています。

添石委員長

ほかは、いかがでしょうか

伊良皆部長 12ページの代表質問で、教育のレベルアップについての中、土曜授業については、教育委員長の答弁でございまして、喜久里職務代理者のほうで議場において、12ページの内容の答弁をしております。

添石委員長 この土曜授業に関して、今後、議論の広がりというか、なにか私どものほうで検討していくべきテーマとか、土曜授業がどういう議論に発展していく可能性があるのか、今の時点で何かありましたら教えていただけますか。

森田副部長 単純に教育に関わる土曜授業は、教職員の勤務時間や服務監督の面で課題がありまして、今後は土曜の教育活動ということで、地域の方の力を借りて土曜日の教育活動を進めていくという方向での検討がなされていくものと思います。土曜授業を那覇市でどのように進めていくのか具体的にまだ決まっています。

伊良皆部長 土曜授業ですけれども、今回、国の補助制度がいろいろ出ているようですけれども、全国的に事例として活用されている自治体はあるようでございます。しかし本市の場合、週休二日制が採用されて以来、土曜日の学校開放でありますとか、最近の状況では、特にスポーツ少年団活動等、学校の活用がされているのか、ということもあります。しかしながら一方、県のほうで週何日かは子供たちのスポーツ活動を休ませなさい、あるいは家庭のことをしなさい。といった状況をふまえながら、調査研究していったら、この土曜授業をどのような形で対応するのか、という部分は見極める必要があると思います。

添石委員長 わかりました。ほかどうでしょうか。

喜久里委員 項目13の14ページ「琉球漆器の学校給食への導入促進について」ですが、モニタリング調査をして使えるような方向でと読めますが、見通しとしては、どの位あとにできるのか、分かれば教えていただけますか。

森田副部長 答弁にもありますが、現在、県の農林水産部で、高耐久性琉球漆器モニタリング調査をしていますが、まだ結果が出ておりません。結果を見ながら、コスト的部分もあろうかと思いますが、導入については検討したいと思います。まだ具体的には進んでいません。

喜久里委員 前島小学校で6年生が使っているのを拝見したりして、郷土の料理もそうですし、器もすごく大きな力を持つと思うので、是非そのまま進めていただけたらと思います。

田端部長 前島小学校で使わせていただきました。非常に子供たちには好評で琉球漆器は見た目も美しく、郷土の材料とか、産業振興に大きな可能性があると感じました。是非促進して頂きたい、と感じました。

添石委員長 よろしいでしょうか、

喜久里委員 はい。

渡慶次教育長 人材育成センターの件。この地域は、以前から公民館の要望があつて、やっそこ

の地区に公民館・図書館を作ろうと、一括交付金を活用して考えているのですが、一括交付金でやるためには、ただの公民館ではだめだと。一括交付金は、これまで、地域の特殊性に起因する課題解決に向けた事業を実施するための財源であったけれど、人材育成に力を入れてやれば使えと、内閣府も説明しているので、これまでの公民館とは違う施設建設を考えていただきたいとおっしゃっていた。特に人材育成について、沖縄は更にやっていただきたい、と要望があるので、本当に良いタイミングでこういう事業ができる。ここに限らず内閣府の参事官が、人材育成というものを教育委員会のほうで、もう少しできる所もあるのではないかと、という事をおっしゃっていたので、こことは別に更なる人材育成の事業が他にないかと、そこをもう少し考えていただきたいなと思います。これは要望です。

添石委員長 はい、ほかはよろしいでしょうか。それでは意見、ご質問等、出尽くしたと思いますので、日程２の報告１「那覇市議会２月定例会における議決議案及び代表・一般質問答弁状況について」は終了します。続きまして、日程３の報告２「平成２６年度那覇市一般会計予算の確定について」は、予算編成過程、予算要求の数値があるため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１３条第６項」を適用し、非公開とする事が適当であると思われますので、その可否について委員の議決を諮りたいと思います。非公開としてよろしいでしょうか。

全 員 異議なし

添石委員長 それでは異議がございませんので、議決により非公開といたします。関係者以外は退席をお願いいたします。

～ 非公開 ～

添石委員長 それでは、非公開を解かせていただきます。以上をもちまして、平成２６年度第１回教育委員会会議定例会を終了します。

案件の審議結果

議案第１号	教育長の任命について	原案どおり可決
-------	------------	---------